

名称等	【報道機関向け】 駿河湾深海生物館 リニューアル内覧会の開催について
実施日時	平成 29 年7月 13 日(木) 13 時~15 時
場所	沼津市戸田地内(駿河湾深海生物館)
担当	企画部 政策企画課 直通 055-934-4704 内線 2423

1 内容

6月の本市定例記者会見でもご案内のとおり、本年5月8日から一時閉館してリニューアルを進めている駿河湾深海生物館について、リニューアル作業の佳境を迎えている施設内を、22日のオープンに先行して報道機関の皆様を対象として内覧会を開催します。

内覧会当日は、監修者の1人である東京大学大気海洋研究所 猿渡助教が最終確認のため来館し、プロジェクトチームの館内装飾(液浸標本の展示等)の仕上げ作業を監修する予定です。

2 経緯・経過

駿河湾深海生物館は、昭和 56 年から日本大学文理学部の安原教授が学術調査のため採取した深海魚を標本にして展示し、昭和 62 年に戸田造船郷土資料博物館に併設されました。

本施設には駿河湾に生息する深海魚を中心に、また本施設にしかない貴重な展示物もありますが、来館者は年々減少していることから、リニューアルに着手することとしました。

リニューアルの監修者として(株)よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のココリコ・田中直樹氏、東京大学大気海洋研究所海洋生物資源部門 助教 猿渡敏郎氏及びサイエンスライター山村紳一郎氏に監修を依頼し、それぞれ専門の見地から助言及び指導をいただき昨年度構想をまとめました。

今年度に入り展示棚や照明施設、新標本の作製などの業務は外部に委託する一方、旧施設の撤去や新標本の展示、表示パネルの作成などは本市プロジェクトチームの直営作業により進められ、温かみのある気持ちのこもった施設に生まれ変わろうとしています。

3 影響・効果

戸田で水揚げされる深海生物に対するこだわり展示をしており、「戸田発！世界一のタカアシガニ」、「戸田でおいしい深海魚」、「深海ザメ」深海のトッププレデター」の特別展示コーナーがあります。

その中で注目してほしい生物は「オロシザメ」で、ここに展示してあるはく製が元となり論文が書かれ、新種記載された深海サメです。これまでの捕獲数も数体しかないといわれている希少種ですが館内にははく製1体、液浸標本2体を展示しています。

その他にもここでしか見ることのできない標本を多数展示し、深海生物について自ら楽しく学べる施設として「深海魚の聖地戸田」を象徴する施設であり、来館者の増加を期待するものです。

4 特徴

本市では、深海魚という貴重な地域資源を活用し、戸田地区における観光交流客数を増加させ、地域産業の更なる活性化を図るため、市職員で構成されたプロジェクトチームにより事業を

推進しており、本施設のリニューアルは、その一環です。

※たいへんお手数ですが、取材にお越しいただく場合には事前に担当までご連絡ください。